

ノヤマ通信

vol.25 (2024.文月)



森のようちえんヒュッテ

【6月の活動記録：6日宇和運動公園、10日桂川溪谷、13日山田薬師、16日明石寺、20日山の基地、24日山の基地、27日歴博】



▲色水あそび。久々のアートっぽい活動でした。(6/24)

●活動を見つめるコラム

「雨の日になぜ外へ行くのか」

森のようちえんの活動では、雨の日も基本、野外に出かけて活動するようにしています。それはなぜなのか 🌧️ ?

一番大きな理由としては、「適応する力を身に付けてほしいから」ということがあります。お天気は、人間の力で変えることはできません。だから野外で活動するときは、お天気に合わせて、私たちが服装や持ち物を工夫します。雨の日でも、カッパを着てタオルや着替えをしっかりと持って行けば、野外でもしっかりと遊ぶことができます。社会の中で生活していく上では、自分が思い通りにできることばかりではありません。おやつをいつでも食べられるわけではないし、学校の先生を自分で選ぶこともできません。しかし、そういうことにいちいち腹を立てたり悲しんだりしていても、充実した日々は送れないでしょう。与えられた環境下で、自分でコントロールできることに集中し前向きに生きていく、そうしたマインドを身につけてほしいと思っています。

他にも、天候による自然の変化を楽しんでほしい(雨の日には 🐸 や 🍌 が元気だね～)とか、自然に対する畏敬の念を持ってほしい(雨や風、増水した川の流れの力強さ、音の大きさがすごいなあ)とか、雨の日の自然に触れているいろんなことを感じてもらいたいと思っています。(ゆ)



▲6/13森のようちえん@山田薬師

👤👤 山の基地

【6月の活動記録：3日、10日、11日、13日、14日、19日、25日日常管理、16日、30日開放日】

●子どもたちからの要望で、ブランコを復活させました。前に設置していた場所とは別のところで、乗り心地はこれから改良していこうと思っています。



●さつまいも畑が獣(おそらくイノシシ 🐗)に荒らされました。油断禁物ですね…。知り合いの山で竹を採らせてもらい、急遽、柵を作りました。その後は、ほぼ問題なく育っています。



🌸🌸 その他の活動

●菌のお話会@山の基地 (6/2)

森のようちえんに参加してくれているあゆみさんの企画で、「菌のお話会」を開催しました。

保育士として働かれていたあゆみさんが、コロナ禍で手を除菌していたところ、子どもたちの手がどんどん荒れていった様子を見て、「何でだろ

う？」と疑問に思われたことがこの会を開ききっかけでした。当日は菌に詳しい講師の先生の実体験に基づくお話を伺いながら、ほしのねさんの玄米酵素ごはんランチをいただきました。

参加者のみなさんも考えていることや体験談をたくさんお話ししてくださって、ありがとうございました！



●磯遊びに行こう@たこやき島 (6/8)

たこやき島で磯遊びのイベントを開催しました。

風が強くて、途中、小雨がぽつぽつと降る不安定な天気でしたが、刻一刻と姿を変えていく海辺で姿を現す生きものたちは不思議なものばかり。みなさん興味津々で、イベント終了後も熱心に生きもの探しを楽しんでいました。

磯は生きものと大地とのつながりを直に観察できる場所なので、今後もジオパークの活動でうまく活用していけるといいな、とあらためて感じました。



●上浮穴高校の探究の授業へ (6/18)

ご縁があって、久万高原町にある上浮穴高校へ。総合的な探究の時間に校内にある池の環境改善に取り組みたい、という生徒さんたちの相談ののってきました。



●皆田小4年生PTA活動@山の基地 (6/23)

長女の同級生である皆田小学校の4年生とその保護者の方々が山の基地に遊びに来てくれました。

たき火でピザを焼いたり、先生と一緒に水あそびを楽しんでいました。



いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。

ハナオチバタケ

腐った落ち葉の上に生えるキノコ。傘の直径は1cm程度と、こぶりでかわいらしいサイズです。

(6/27歴博)



よもやま話

●先日、5歳の末っ子が「パパ、タブレット買って〜」と言ってきました。お姉ちゃんたちはiPadや学校から貸し出されたノートPCをときどき家で使っています。それを見て欲しくなってしまったのかなあ、でもまだ5歳だしなあ、どう答えようかなあ 😞 と考えながら、「え〜 どういうやつがほしいん？」と聞いてみました。

すると「青とか黄色のやつ！すっぱいんよ」と言います。ん？と思ってよくよく話を聞いてみると、保育園では暑い日に外遊びをした後、熱中症対策のため、塩分補給用のタブレットが配られるそうです。それが美味しかったから、買ってほしいとのこと 😋。早く、レディ薬局で買い求めました。(ゆ)



●小1の次女は、学校が終わってほしい20分くらいかけて友だちと一緒に歩いて帰ってきます。その時間が30分になったり、1時間近くになったりする時もあるので、理由を聞いてみると「今日は蛇と死んだミミズを見よったんよ」とか、「お遍路さんと話しながら帰って来たんよ」と話してくれることがあります。

この前は「これって今学校で習いよる、おむすびころりんのお爺さんが使いよるやつやろ？」と、竹の皮を拾ってきました。学校の統合などによって、バス通学の地域も多くなってきていますが、通学路には学びが溢れているなあと思います。特に低学年だと、子どもだけの時間というのもあまりないと思うので、それもまた、いいなあ。遅くなりすぎると心配ですが、寄り道の話聞くのも楽しみです。(ち)



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

noyama.company@gmail.com